

石油資源開発 ビジネスレポート

JAPEX

2018 秋・冬号 | 2018年4月1日～9月30日



片貝ガス田 片貝鉱場(新潟県小千谷市)

石油資源開発株式会社

証券コード：1662

社長メッセージ



株主の皆さまにはますますご清祥のことと、
お慶び申し上げます。

2019年3月期第2四半期累計期間における
当社の業績等につきまして、
ここにご報告申し上げます。

代表取締役社長 社長執行役員

岡田 秀一

2019年3月期第2四半期累計期間連結業績のご報告

当第2四半期連結累計期間における売上高は1,151億円と、前年同期に比べ27億円の増収となりました。前年同期に比べ増収となった主な要因は、原油・天然ガスの販売数量が減少したものの、カナダ・オイルサンドプロジェクトのハンギングストーン鉱区における希釈ビチューメン販売数量が増加したことによるものです。

営業損益は、本年3月に操業開始した相馬LNG基地の操業費用発生などにより、前年同期に比べ46億円減益の11億円の営業損失となりました。経常利益は、持分法による投資利益が増加したものの、為替差益が為替差損に転じたことなどにより、前年同期に比べ75億円減益の12億円となり

ました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ53億円減益の24億円となりました。

また、当社の収益に大きく影響を与える原油価格は、本年4月の1バレル66ドル台から9月には76ドル台と、およそ10ドル上昇しているものの、米国によるイランへの経済制裁発動や、米中貿易摩擦などから、今後も原油価格の推移など、当社をとりまく事業環境については、予断を許さない状況が続くものと考えております。

なお、当期の中間配当金につきましては、長期安定配当方針のもと、業績や当社をとりまく事業環境などの見通しを踏まえ、1株あたり10円とさせていただきます。

当期上期(2018年4月～9月)の主な事業トピックス

●E&P事業 ●非E&P事業



カナダ・オイルサンドプロジェクトのハンギングストーン鉱区で、**日量2万バレル規模のビチューメン安定生産**に移行、市況をみながら開発生産計画見直しやコスト削減など事業収支改善に取り組む



国内では**北海道・勇払油ガス田の浅層**における原油(重質油)開発、海外では生産中の**インドネシア・カンゲアンプロジェクトTSBガス田**で追加開発を実施中



福島ガス発電(株)*による、相馬LNG基地内への**2号LNGタンクと気化設備増設工事**、ならびに、基地隣接地の**福島天然ガス発電所工事**は、2020年運転開始を目指し順調に進捗

*当社出資比率33%



戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期に「革新的深海資源調査技術」が選定され、その研究開発に係る業務を、当社が参画する次世代海洋資源調査技術研究組合(J-MARES)が受託

→P4. Pick Up

今後の見通しと通期業績予想について

当期上期の事業活動における最も大きな成果といたしましては、昨年8月に本格生産操業に移行したカナダ・オイルサンドプロジェクトのビチューメン生産が、6月末に日量2万バレル規模の安定生産に移行したことがあげられます。しかしながら、カナダのオイルサンド事業をとりまく市場環境は厳しい状況にあり、市況をみながら、開発生産計画の最適化やコスト削減などを通じた、本プロジェクト収支の改善にも取り組んでまいり所存です。

その他、国内外での油ガス田開発、相馬LNG基地Ⅱ期工事ならびに相馬港における天然ガス火力発電事業、そして、新規事業に係る具体的な検討も、着実に進めてまいります。

通期業績予想につきましては、当第2四半期の業績、ならびに、今後の事業などの見通しを踏まえ、11月9日付で修正いたしました。売上高は当初予想より増収、営業利益は減益となるものの、経常利益および当期純利益は、当初予想より増益となる見通しです。

当社は、長期ビジョンおよび中期事業計画にもとづき、進行中のプロジェクトの着実な推進と、将来に向けた成長基盤を固めるための、ポートフォリオ最適化やコスト見直しを通じた筋肉質な企業体質への変革を進めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、当社への変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

トピックス (2018年6月～10月)

● E&P事業 ● 非E&P事業 ● 会社情報

6月



**カナダ・オイルサンドプロジェクトのハンギングストーン鉱区が
日量2万バレル規模のビチューメン(超重質油)安定生産に移行**

2017年8月の本格生産開始後、計画より早く安定生産に移行しました。

7月



**福島天然ガス発電所に係る公害防止協定を
福島ガス発電(株)、福島県、福島県新地町および相馬市の間で締結**

2020年4月の運転開始に向け、環境に配慮しながら安全最優先で工事を進めます。

8月



**ノースモントニー地域とカナダ最大の天然ガスパイプライン網を結ぶ
天然ガスパイプライン「North Montney Mainline」が着工**

より広域な市場へのシェールガス販売を目指していきます。

9月



英国にアバディーン事務所を開設

ロンドン事務所を移転し、英領北海で事業を行っている多くの石油会社が拠点を置く、アバディーンにおいて業務を開始しました。

10月



相馬・電力事業本部が発足(相馬プロジェクト本部を改称)

相馬LNG基地のⅡ期工事や相馬港における天然ガス火力発電事業の推進に加え、再生可能エネルギーを含む電力全般に係る新規案件の具体化検討などを担います。

Pick Up

海底鉱物資源調査技術 ～海底に眠る資源を探る～

日本の排他的経済水域（EEZ）は国土面積の約12倍に及び広大な範囲に広がっており、その海底には豊富な鉱物資源の存在が確認されています。この海底鉱物資源を高効率かつ低コストで調査する技術を世界に先駆けて確立し民間に移転することを目指して、政府は、2014年に創設した「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」（第1期）の課題の一つに「次世代海洋資源調査技術（海のジパング計画）」を選定しました。

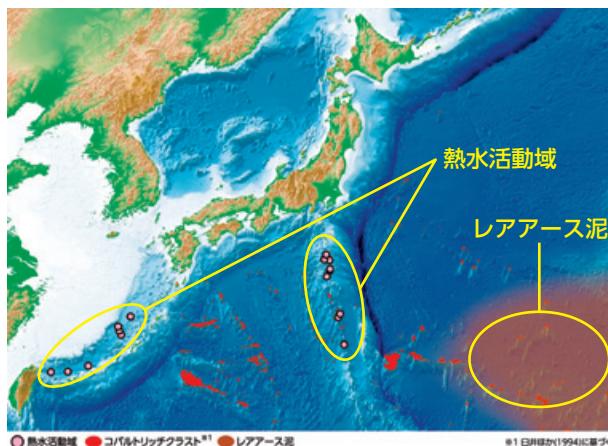
当社をはじめとする民間4社は、海底鉱物資源に係る知見を集約し課題解決に貢献するため、2015年1月に「次世代海洋資源調査技術研究組合（J-MARES）」を設立してSIPに係る調査研究業務を受託し、実施してきました。そこでは水深2,000mより浅い位置に存在する熱水活動域の海底熱水鉱床^{注(1)}に対し、J-MARESが新たに開発した探査技術を用いて得たデータの解釈・評価や、海底から採取した岩石試料の分析を通じて、その探査に成功するなどの成果を上げています。

また、2018年に開始されたSIP第2期では、「革新的深海資源調査技術」が課題として選定され、J-MARESはその調査研究業務を受託しています。SIP第2期では、水深2,000mより深い位置に存在するレアアース泥^{注(2)}などの海底鉱物資源を対象として、調査技術や生産技術の開発と実証に向けた取り組みを進めています。

当社としても、このような取り組みを通じて、海底鉱物資源などを対象とする民間調査産業の創出を目指しています。



熱水噴出によって形成されたチムニー（塊状の硫化物）
画像提供: J-MARES



日本近海における海底鉱物資源の分布図 画像提供: JAMSTEC
(図中の囲みについては、当社にて追記)

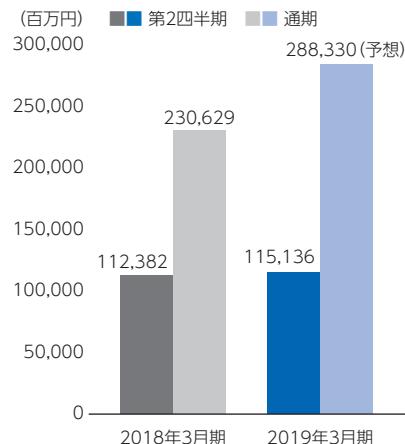
注(1) 海底から噴出する熱水に含まれる銅、鉛、亜鉛などの金属成分が沈殿してできた塊状のもの

注(2) 海底下にレアアースを含む泥が粘土状に堆積しているもの

連結業績ハイライト

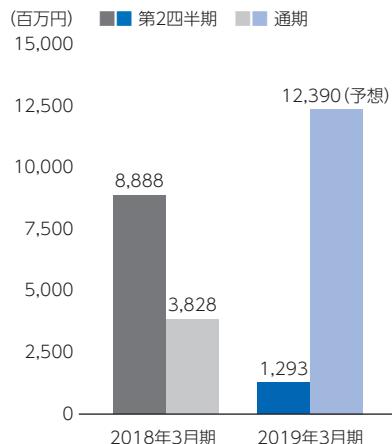
売上高

115,136百万円



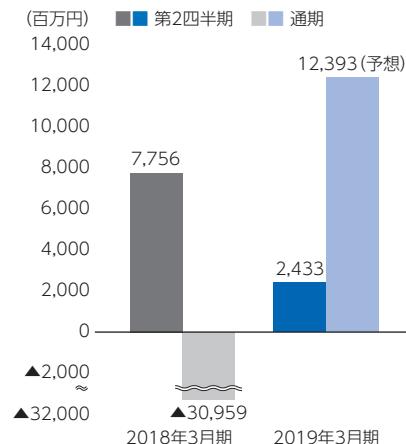
経常利益

1,293百万円



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

2,433百万円



単位:百万円

	2018年3月期		2019年3月期	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期(予想)
売上高	112,382	230,629	115,136	288,330
営業利益	3,452	8,764	▲ 1,183	526
経常利益	8,888	3,828	1,293	12,390
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	7,756	▲ 30,959	2,433	12,393
総資産	746,006	699,536	692,648	-
純資産	524,993	459,255	465,736	-
原油CIF価格(ドル/バレル) 注	52.44	56.20	72.47	73.75
為替レート(円/ドル)	111.79	111.67	109.18	109.60

注:原油CIF価格とは、日本に輸入される、運賃や保険料を含んだ通関ベースの価格です。

財政状況等その他詳細につきましては、当社ウェブサイトをご覧ください <https://www.japex.co.jp/ir/>

会社概要・株式の状況 (2018年9月30日現在)

会社概要

商号	石油資源開発株式会社
英文社名	Japan Petroleum Exploration Co., Ltd. (JAPEX)
本社所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー
設立	1970年4月1日
資本金	14,288,694,000円
従業員数	1,788名(連結) ※2018年3月31日現在
事業内容	石油、天然ガスおよびその他のエネルギー資源の探鉱、開発、販売とこれらに関連しての掘削等の請負事業ほか
事業所等	本社、北海道事業所、秋田事業所、長岡事業所、相馬事業所、仙台事務所、技術研究所、ヒューストン事務所、ジャカルタ事務所、アバディーン事務所、ドバイ事務所

取締役・監査役

代表取締役会長	渡辺 修
代表取締役社長 社長執行役員	岡田 秀一
取締役 専務執行役員	深澤 光
取締役 専務執行役員	檜貝 洋介
取締役 専務執行役員	井上 尚久
取締役 常務執行役員	大関 和彦
取締役 常務執行役員	伊藤 元
取締役 常務執行役員	田中 啓誉
取締役 常務執行役員	平田 敏幸
取締役 常務執行役員	山下 通郎
取締役 常務執行役員	石井 美孝
取締役	小島 明
取締役	伊藤 鉄男
常勤監査役	内田 賢二
常勤監査役	下村 恒一
監査役	渡辺 裕泰
監査役	中島 敬雄

注1 取締役 小島明および伊藤鉄男は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
注2 監査役 渡辺裕泰および中島敬雄は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

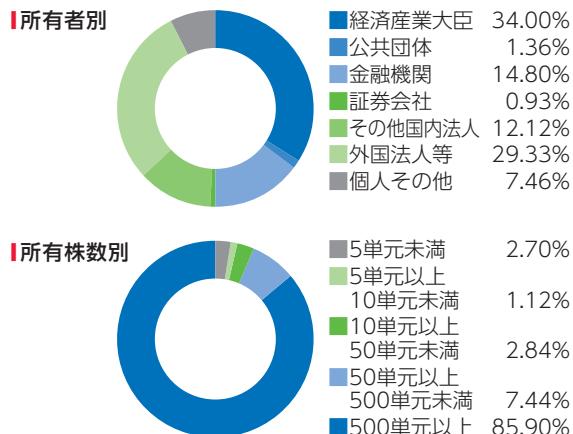
株式の状況

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	57,154,776株
株主数	12,825名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率
経済産業大臣	19,432,724	34.00%
国際石油開発帝石株式会社	2,852,212	4.99%
ORBIS SICAV	1,942,104	3.40%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,929,000	3.38%
JFEエンジニアリング株式会社	1,848,012	3.23%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,633,140	2.86%
THE BANK OF NEW YORK 133524	1,204,300	2.11%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,158,100	2.03%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	753,834	1.32%
株式会社みずほ銀行	720,152	1.26%

株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月開催
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

公告掲載新聞 日本経済新聞
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
(特別口座管理機関)

お問い合わせ先 **【証券会社に口座をお持ちの株主様】**
お取引先の証券会社にお問い合わせください。なお、未払配当金のお支払いや支払い明細の発行については、下記のみずほ信託銀行の連絡先にお問い合わせください。

【特別口座の株主様(証券会社に口座をお持ちでない株主様)】
みずほ信託銀行の下記の連絡先にお問い合わせください。

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話:0120-288-324(フリーダイヤル)

単元株式数 100株
証券コード 1662(東証第一部)

見直しに関する注意事項

この「石油資源開発ビジネスレポート」に掲載されている当社の現在の計画、見直し、戦略、その他の歴史的事実ではないものは、将来の業績に関する見直しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見直しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

JAPEX

石油資源開発株式会社

〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー

【株主様窓口】

総務法務部文書グループ 電話:03-6268-7001

【IRに関するお問い合わせ】

広報IR部IRグループ 電話:03-6268-7111

ウェブサイト <https://www.japex.co.jp/>



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では今回リニューアルしたビジネスレポートを含め、株主の皆さまへのよりよい情報提供を目指し、このたび当冊子に関するご意見やご感想をいただきたく、下記のとおりアンケートを実施させていただくことにしました。当アンケートへの回答にご協力をいただけますようお願い申し上げます。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 1662

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を差しさせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主サーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp/>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30)
「e-株主サーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com